



笑顔をつくるおいしい!の

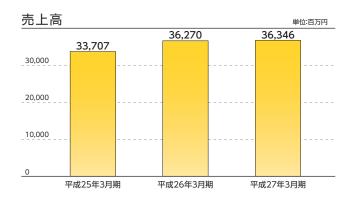
- 株主のみなさまへ -

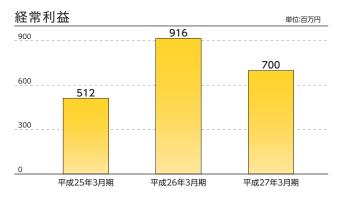
第78期 報告書

平成26年4月1日 → 平成27年3月31日

Be always for Customers! 井村屋グループ株式会社

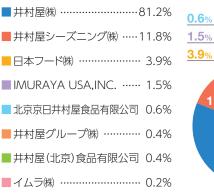
連結財務ハイライト

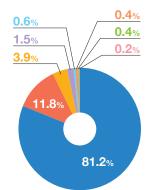






持株会社及び事業会社別の売上高





井村屋グループ中期3カ年計画

One imuraya 2017

井村屋グループは、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「One imuraya 2017」を策定しました。厳しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値をさらに高めてまいります。常にお客様の視点に立ち、継続的なイノベーション(革新)で特色経営をさらに磨き、着実な成長によって社会に貢献するグループ企業を目指します。





井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(CEO) 代表取締役社長(COO)

浅田剛夫 寺家正昭

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の 輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

パッションの原点はイノベーション(革新)の発揮です。全体最適を考え、全員でイノベーション(革新)に向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第78期(平成26年4月1日から平成27年3月31日)を終了し、報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、円安・株高基調が 継続し、景気は緩やかな回復傾向にありましたが、個人消費の回復 は弱い動きとなり、新興国の経済成長の減速や海外の不安定な 経済情勢など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

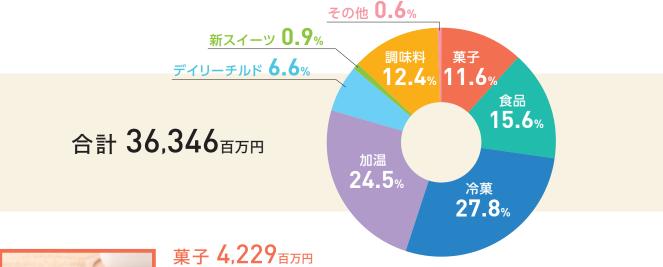
このような経営環境下で、中期3カ年計画「Strategic Innovation Plan 2014」の最終年度であり、次の中期3カ年計画につなげる重要な年度として、目標達成に向けてグループが一丸となり取り組んでまいりました。

天候不順などの影響による上期の冷菓商品の低迷、円安による原材料高、エネルギーコスト高などの影響もあり厳しい経営状況でした。しかし、下期にかけて新しく開発した高付加価値の商品

が好調に推移したことや、補助金を活用して導入したバイオマスボイラによる動燃費削減など全社挙げてのコスト削減、生産性向上活動に取り組んだ成果が表れ、当期純利益は前期を上回り、増収増益のご報告をさせていただくことができました。

第79期は新中期3カ年計画「One imuraya 2017」の初年度であり、2017年には創業120年、会社設立70周年を迎えますが、企業として着実な成長を図るとともに、環境や社会問題の解決に積極的に貢献し、社会との共通価値を生み出す経営体質への変化も3年間の中では大きな課題となります。今期は目標達成を確実にするための重要な1年と位置付けて、「自立と協働」を旗印に事業会社間のシナジー効果をより一層強く発揮し、グループ経営を進化させてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を 賜りますようお願い申し上げます。





菓子については、ようかん類で、スポーツシーンで手軽に食べられる商品「スポーツようかんプラス」が引き続き好評をいただき、新商品の「和菓子屋のようかんシリーズ きんつば・芋・栗」も順調に推移しました。また、世界の優れたパッケージデザインに与えられる「pentawards (ペントアワード) 2014 銅賞」を受賞した「招福ようかん」も祭事や記念日に合わせてご利用いただけるプチギフトとしてパッケージデザインを活用した商品展開を行い、災害時の備蓄用商品として評価の高い「えいようかん」は新シリーズとして「チョコえいようかん」を発売し、より幅広い層への商品提案を行っております。和洋菓子では、日本国内でカステラ商品がコンビニエンスストアでの販売を中心に大きく伸長し、中国の井村屋(北京)食品有限公司(IBF)におけるカステラ事業でも中国国内で新商品の「オレンジカステラ」を投入して計画に沿って推移するとともに、アメリカへの輸出が順調に増加しました。その結果、菓子全体の売上高は、前年同期比67百万円(1.6%) 増の42億29百万円となりました。



食品 5,667 百万円

食品については、ホットデザート類で新商品「いちごおしるこラテ」「チョコおしるこラテ」の投入や「お気に入りしるこのリニューアルを行い売上が増加しました。調味食品では「お赤飯の素」が堅調に推移し、食べやすい小袋サイズの商品「ちょこっとつぶあん」が伸長しました。冷凍食品では、井村屋ウェブショップ限定の高付加価値商品「松阪牛まん」を発売するなど、話題性のあるPR活動を行い、「ゴールドまん」シリーズの新商品「2個入りゴールド肉まん・あんまん」が売上増加に大きく貢献しました。OEM受託商品においては、国内事業会社の日本フード株式会社での受注が堅調に推移し、食品全体の売上高は前年同期比1億75百万円(3.2%)増の56億67百万円となりました。



冷菓 10,086百万円

冷菓商品は、上期の主力商品である「あずきバー」シリーズが、夏場の天候不順の影響もあり売上本数は2億31百万本(前年同期比86.8%)と減少しましたが、通年販売を行った「やわもちアイス」シリーズは季節に応じた新アイテムの投入に加え、最中タイプの新商品「やわもちアイス最中」が好評をいただき、「やわもちアイス」シリーズの売上高は前期比25.3%増の16億11百万円となりました。また、秋冬物の新商品「きんつばアイス」、「焼いもアイス」が好調に推移するとともに、コラボレート企画商品の「蜂蜜かりんとうアイス」も好評をいただき、新商品が売上に貢献いたしました。米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.においてもOEM受託商品の売上が増加し、また、井村屋ブランド商品においても新しい商品提案と販売促進を強化しております。しかし、冷菓全体では「あずきバー」シリーズの売上減(前年同期比12億円減)をカバーするまでには至らず、冷菓商品の売上高は、前年同期比8億60百万円(7.9%)減の100億86万万円で、9%)減の100億86万万円で、9%)減の100億86万万円で、9%)減の100億86万万円で、9%)減の100億86万万円となりました。



加温 8,900 百万円 (スチーマー商品)

加温商品では、「肉まん・あんまん」発売50周年を記念し、話題性のあるPR企画や感謝の気持ちを込めたキャンペーンを実施するとともに、SNSを活用した積極的な販売促進活動を展開いたしました。コンビニエンスストアでは、新しい製法を用いた付加価値の高い商品が評価を得て、導入アイテムの増加により好調に推移し、加温商品の売上高は前年同期比6億42百万円(7.8%)増の89億円となりましたが、主原料の豚肉など原材料価格の高騰により差益は前年を下回りました。また、食品カテゴリーの「冷凍まん」、デイリーチルドカテゴリーの「チルドまん」を含めた"肉まん・あんまん類"の売上高は新商品「ゴールドまん」シリーズの発売効果もあって、前年同期比9.3%増の111億65百万円となり、過去最高の売上を記録しました。



デイリーチルド 2,395_{百万円}

デイリーチルド商品では、「チルドまん」においても「ゴールドまん」シリーズが好評をいただき、チルドタイプの [3個入りゴールド肉まん・あんまん」が冷凍食品と同様に売上増加に貢献いたしました。豆腐類では、「美し豆腐」が好調に推移するとともに、業務用ルートでの売上が伸長し、デイリーチルド合計では前年同期比1億91百万円(8.7%) 増の23億95百万円となりました。また、豆腐事業では、新たにSOY(大豆)事業への変革に取り組んでおり、新市場・新需要の創造により、今後の事業拡大を目指してまいります。



新スイーツ 340_{百万円}

新スイーツでは、「アンナミラーズ」「ジュヴォー」のブランドを活かした店舗運営を行い、「アンナミラーズ」では前期リニューアルを行ったアンナミラーズ高輪店が順調に売上を伸ばしました。「ジュヴォー」では1月に新宿伊勢丹のチョコレートの祭典「サロン・デュ・ショコラ」へ出店した効果により、バレンタインデーやホワイトデーの売上増加に繋がりました。中国天津で2店舗を出店している「アンナミラーズ」もブランドの認知度が高まっており、新スイーツの売上高は前年同期比47百万円(16.1%)増の3億40百万円となりました。また、本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「彩(いろどり)ストアー」も商品のPR効果に繋がっています。



調味料 4,515_{百万円}

国内で調味料事業を担当する井村屋シーズニング株式会社では、食の安全と新たな市場開拓を目指した取り組みを行い、6月に食品安全管理システムにおける国際認証規格FSSC22000を取得しました。また同じく6月にハラール認証を取得し、新たな顧客満足の提供と新規市場の開拓を進めました。販売面では、大手取引先の受注量減少や消費税増税後の買い控えの影響により売上が減少しましたが、設備投資の効果的な活用と生産体制の見直しにより、生産性の向上と製造コスト低減を図り、損益面では前年同期を上回る結果となりました。中国に拠点を置いている北京京日井村屋食品有限公司(JIF)は、重点得意先のニーズに対応した商品提案を行い、中国国内の売上が増加いたしました。また、中国事業の成長戦略の一環として大連に設立した井村屋(大連)食品有限公司(IDF)は1月に予定通り開業式を迎え、今後の中国事業の成長に同け期待がもてる状況となっております。この結果、調味料事業の売上高は、前年同期比1億89百万円(4.0%)減の45億15百万円となりました。



その他 211 百万円

イムラ株式会社が行っているリースや保険の代理業は堅調に推移し、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」は固定的な販売設備の増強や開催回数を増加するなどお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民から引き続き好評をいただきました。その結果、その他の事業の売上高は2億11百万円となりました。

連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

		+14:1111
	前連結会計年度末 平成26年3月31日	当連結会計年度末 平成27年3月31日
(資産の部)		
流 動 資 産	10,022	9,904
現 金 及 び 預 金	1,793	973
受取手形及び売掛金	5,084	5,389
た な 卸 資 産	2,695	2,577
そ の 他	451	964
貸 倒 引 当 金	△ 2	△ 1
固 定 資 産	14,501	15,037
有 形 固 定 資 産	12,126	12,336
無形固定資産	111	138
投資その他の資産	2,263	2,562
繰 延 資 産	_	43
資 産 合 計	24,523	24,985
(負債の部)		
流 動 負 債	10,973	11,446
固 定 負 債	2,934	2,491
負 債 合 計	13,907	13,937
(純資産の部)		
株 主 資 本	8,562	8,572
その他の包括利益累計額	2,025	2,445
少数株主持分	27	29
純 資 産 合 計	10,615	11,047
負債・純資産合計	24,523	24,985
	※記載全額け五万田丰港	を切り栓でて表示しております。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

計画的な設備投資の実施や、投資有価証券の時価評価額の上昇等がありました。

point 2 負 債

冬物商品の生産に連動した短期借入金の調達を行いました。

POINT3 純資産

利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加しました。

連結損益計算書(要約)

単位:百万円

_ 111 37 1		- (単位·日/J □
		前連結会計年度 平成25年4月 1 日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月 1 日から 平成27年3月31日まで
売 上	高	36,270	36,346
売 上	原 価	25,060	25,135
売 上 総	利 益	11,209	11,211
販売費及び-	一般管理費	10,439	10,764
営 業	利 益	769	446
営 業 外	、 収 益	205	308
営 業 外	、費用	58	55
経 常	利 益	916	700
特 別	利 益	13	139
特 別	損 失	21	46
税金等調整前	当期純利益	908	793
法 人 税	等 合 計	574	414
少数株主損益調整	前当期純利益	334	379
少数株主	員失(△)	△ 1	△ 2
当 期 純	利 益	335	381

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

継続的なコストダウン活動に加え、設備投資による生産性向上や「創エネ」として1月より稼働を開始した、バイオマスボイラなど新規設備の導入により、製造コスト低減に取り組みましたが、円安の影響による原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇を収するまでには至りませんでした。

しかし、特別利益では前述のボイラ設備への補助金を計上 しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで	当連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,598	912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 744	△ 1,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,811	△ 512
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	165	△ 968
現金及び現金同等物の期首残高	1,618	1,783
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	_	150
現金及び現金同等物の期末残高	1,783	965

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、仕入債務及び未払金が減少。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、短期借入金の純増減額が増加。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

平成26年4月1日から	株主資本				その他の包括利益累計額								
平成27年3月31日まで	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		土地再評価差額金			てい他の己治利益	少数株主持分	純資産合計
当 期 首 残 高	2,253	2,322	4,581	△ 594	8,562	133	△ 0	1,818	14	58	2,025	27	10,615
会計方針の変更による累積的影響額			30		30								30
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,253	2,322	4,611	△ 594	8,592	133	△ 0	1,818	14	58	2,025	27	10,646
連結会計年度中の変動額													
剰余金の配当			△ 243		△ 243								△ 243
当 期 純 利 益			381		381								381
自己株式の取得				△ 76	△ 76								△ 76
自己株式の処分		0		0	0								0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△ 81			△ 81								△ 81
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						226	0	101	△ 24	116	420	1	421
連結会計年度中の変動額合計	_	△ 81	137	△ 76	△ 20	226	0	101	△ 24	116	420	1	401
当期末残高	2,253	2,240	4,749	△ 671	8,572	359	_	1,920	△ 9	175	2,445	29	11,047

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

会社が発行する株式の総数 100,000,000株 発行済株式の総数 25,644,400株 自己株式1,416,400株を含む) 株主数 4,493名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	1,177	4.85
株式会社百五銀行	1,157	4.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,118	4.61
井村屋取引先持株会	913	3.77
瀬古製粉株式会社	726	2.99
中 山 芳 彦	698	2.88
株式会社りそな銀行	572	2.36
三井住友海上火災保険株式会社	493	2.03
株式会社西村商店	478	1.97
双日食料株式会社	465	1.92

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

※株主様ご優待品につきましては、背表紙 にてご案内しております。

株主様へのインフォメーション

事 業 年 度	4月1日~翌年3月31日		
期末配当金受領株主確定日	3月31日		
中間配当金受領株主確定日	9月30日		
定時株主総会	毎年6月開催		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)		
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただい電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)		
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部		

(ご注意)

- 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別□座に記録された株式に関する各種お手続につきましては、三井住友信託銀行が □座管理機関となっておりますので、下記特別□座の□座管理人に、お問合せください。

特別□座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 同 取 次 窓 □ 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ゴールドシリーズ商品、拡充!

~ ワンランク上のおいしさを楽しんでいただけるゴールドシリーズを展開~



ゴールド水ようかん

あんと砂糖、寒天を絶妙なバランスで、じっくり手間ひまをかけて丁寧に仕上げました。なめらかで瑞々しくとろける食感を楽しんでいただける井村屋自慢の逸品です。







ゴールドあずきバー・宇治金時バー・ミルク金時バー

あずきを生豆から炊くことで、あずきの風味を逃さず豊かな味わい を出しました。素材・製法・配合すべてにこだわって作り、より 豊かな味わいのあずきバーに仕上がりました。

菓子



チョコえいようかん

災害時の非常食「えいようかん」に続き、「チョコえいようかん」が登場。新たに ぶどう糖・カルシウムを配合し、災害時・ 非常時に不足しがちな栄養を手軽に補給 いただけます。





あんこたっぷり和菓子屋のどらやき (1コ入・3コ入)

新たにどらやきの設備投入を行い、「あんこたっぷり和菓子屋のどらやき」を発売しました。三重県産小麦とたっぷり卵を使用したキメの細かいふんわりとした生地に、「あんこの井村屋」自慢のあんをたっぷりとはさみ込みました。

食品





新食感 ふわっとかき氷の素 (練乳味・ソーダ味)

「新食感 ふわっとかき氷の素(練乳味・ソーダ味)」が新登場。カップごと凍らせて中身をかき氷機で削るだけで、ふわっとした食感のかき氷をご家庭で作ることができます。







こだわりの氷みつ (マンゴー・いちご・抹茶)

素材にこだわり、香り高く濃厚な味わいのシロップが仕上がりました。品質を保持するアルミパウチを使用した小容量サイズで、1シーズン使い切りタイプとなっています。

冷菓





やわもちアイス (つぶあんミルク最中・抹茶つぶあん最中)

大人気のやわもちアイスシリーズに最中 タイプが仲間入り。国産もち粉を配合した最中 皮で、やわもちの魅力を包み込みました。







スイカボール・メロンボール・モモボール 懐かしい駄菓子アイスがリニューアル。 なめらかな食感のさっぱりとしたシャーベット に果汁を配合し、フルーツの風味がUPしま した。

~あずきバーNEW TVCMが始まります~

今年度もイメージキャラクターに田畑智子さんを起用し、 井村屋あずきバーシリーズを幅広い世代へPRいたします。 母親役の田畑さんと子役の鎌田英怜奈ちゃんが和やかに あずきバーの楽しみ方をご紹介しています。



~7月1日は井村屋あずきバーの日~

あずきはビタミンB1やB2、子どもの成長期に欠かせない 亜鉛など豊富な栄養がたっぷり。また、昔ながらの製法で 無香料、無着色のあずきバーはお子様にも安心して召し 上がっていただけるおやつです。ご家族であずきバーを 召し上がっていただき、夏本番を乗りきりましょう! 平成27年4月24日、古来より日本に伝わる食文化の伝承 という社会的な役割が評価され、日本記念日協会より 「記念日文化功労賞」を受賞しました。





表彰状

~Many Thanks キャンペーンが今年も始まりました~

BOXあずきバーシリーズを対象に応募マーク貼付式の キャンペーンを実施しております。

第1回締切:平成27年7月31日

第2回締切:平成27年9月30日 (=

(当日消印有効)

みなさまからのたくさんのご応募、お待ちしております!



バイオマスボイラ稼働!!

平成27年1月22日に竣工式を行い、バイオマスボイラが稼働しました。

価格変動の大きいガスから木材にシフトさせて燃料費の安定化とともに、エネルギーを自社で創り出し、地球環境保護のためにCO2排出量の削減を図ります。

三重県産の間伐材と建築廃材でつくった木質チップを燃料にして 蒸気をつくり、そのエネルギーで主力商品の「肉まん・あんまん」 を蒸したり、小豆を炊いたりするなどの工程に活用しています。



建屋外観

【CO2削減効果】

年間CO2排出量 26%減 (約5,000トン削減見込)

【省エネ効果】

年間エネルギー使用量※原油換算 21%減

(年間燃料コスト1億20百万円削減見込) ※都市ガス等のエネルギー使用量を原油量 に換算したもの



ボイラ設備の一部

最優秀子育て応援企業賞を受賞

井村屋グループ株式会社、井村屋株式会社は「日本創生のための将来世代応援知事同盟」より最優秀子育て応援企業賞を受賞しました。井村屋グループの取り組みとして社内環境の整備を進めるとともに、社内託児所の設置、子ども手当の創設、食育を推進する「あずきキャラバン隊」など地域の子育て支援に取り組んでいる社会的な役割が評価をいただきました。



託児所の様子

井村屋(大連)食品有限公司(IDF)開業

平成27年1月28日、井村屋(大連)食品有限公司(IDF)の開業式が行われました。日本で長年培った品質基準を維持し、トレースできる安全・安心な野菜・畜肉・魚介等を主原料とする業務用調味料の生産拠点として、北京京日井村屋食品有限公司(JIF)と協働し、中国食品市場への貢献に取り組んでまいります。



開業式の様子

SNSでの積極的な取り組みが話題に

井村屋のFacebook、Twitterは遊び心のある公式アカウントです。SNSをきっかけに刃物の産地、岐阜県関市との固い絆や異業種とのコラボレーションを行い、メディアにも取り上げられ、大きな話題となりました。



(右から)尾関健治市長、浅田CEO

ウィンターファンシーフードショーへ 今年も出展しました

アメリカ・サンフランシスコで開かれる北米最大規模の食品展示会に出展しました。これまではIMURAYA USA, INC.の商品を中心に出品していましたが、今回は井村屋グループとして大きな方向性、海外売り上げの拡大に向け日本からアイスクリーム、どら焼き、「スポーツようかんプラス」を持ち込み、モニター調査を実施。現地の方の嗜好、今後の輸出拡大の可能性を調査いたしました。





出展ブースの様子

「ゴールド肉まん」「ゴールドあんまん」が優秀ヒット賞を受賞

昨年、肉まん・あんまん50周年の節目を記念して「ゴールド肉まん」「ゴールドあんまん」を発売しました。ご好評をいただき、日本食糧新聞社主催の第33回食品ヒット大賞のチルド食品・フローズン食品部門において、優秀ヒット賞を受賞いたしました。



受賞トロフィー



社外取締役制度を導入しました

社会・経済情勢の変化の潮流を受け、平成27年6月19日の株主総会で下記の2名の社外取締役が就任しました。

外部からの目で取締役の執行を監督して透明性を高めるとともに、 斬新な視点で経営に参画し、「積極的ガバナンスの構築」をして まいります。

新任社外取締役

・名倉 眞知子

昭和51年3月 公認会計士登録

昭和57年4月 公認会計十名倉眞知子事務所開設(現任)

· 西岡 慶子

平成13年5月 株式会社光機械製作所代表取締役社長就任(現任) 平成23年6月 国立大学法人三重大学 経営協議会委員就任(現任)

三重県経営品質賞 奨励賞を受賞

平成24年4月にスタートした経営品質向上活動は、三重県経営品質賞の奨励賞を受賞しました。今回の受賞を新たな励みとして、より高いグループの総合的な経営品質向上への取り組み強化を図る大事な出発点とし、社員が「明日も行きたくなる会社」を目指してまいります。



表彰状

高カロリー豆腐での食事介入試験を実施 〜長寿社会でお役に立てる商品を目指して〜

食事量が少なく、カロリーが不足しがちな高齢者向けに、熱量を従来品の2倍である96kcalに増やした「高カロリー豆腐」を開発。もともと柔らかい豆腐に機能性を加え、おいしく食べられる介護食として、現在、三重県にある伊賀市立上野総合市民病院の協力の下、実証試験を展開中。また、平成27年4月には、豆腐事業における技術と特色を活かし、事業のさらなる成長を目指すことを目的に井村屋株式会社に「SOY事業推進部」を新設いたしました。



高カロリー豆腐(イメージ)

規格外あずきの活用

平成27年2月、みえ長寿推進協力員津連絡会のお手玉づくり 講習会にあずきの選別工程で発生する規格外あずきを使って いただきました。包む布は津市市民エコ活動センターのご提供 で、完成した「座布団型」お手玉は、三重県健康福祉部を通じて 子育て支援のイベントや老人ホームなどへ活用いただく予定 です。今後も地域に根差した活動をしてまいります。



お手玉づくりの様子

井村屋グループのご紹介(平成27年6月19日現在)

より詳しい内容は、各社ホームページ、 井村屋グループホームページの「グループ企業紹介」(http://www.imuraya-group.com/outline/group/) を参照ください。

井村屋株式会社

所 在 地:三重県津市高茶屋七丁目1番1号

事業内容:菓子・食品・デイリーチルド・加温・冷菓

新スイーツの製造販売

代表者:浅田 剛夫・前山 健 http://www.imuraya.co.jp/





井村屋シーズニング株式会社

所 在 地:愛知県豊橋市西七根町字奥足田口88番地

事業内容:調味料の製造販売

代表者: 菅沼 重元

http://www.imuraya-group.com/seasoning/







日本フード株式会社

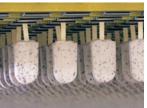
所 在 地:愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1

事業内容:菓子・食品・冷菓の製造

代表者:森井 英行

http://www.nipponfood.co.jp/





イムラ株式会社

所 在 地:三重県津市高茶屋五丁目6番1号

事業内容:保険代理業・リース代理店業務・不動産管理業務等

代表者:中島 伸子

http://www.imuraya-group.com/outline/group/





北京京日井村屋食品有限公司

所 在 地:中国北京市豊台区花郷羊坊308号

事業内容:調味料の製造販売 代表者:前山 健・近藤 久嗣 http://www.imuraya.cn/jif/





井村屋(北京)食品有限公司

所 在 地:中国北京市豊台区花郷羊坊308号

事業内容: 菓子の製造販売 代表者: 前山 健・周 浩 http://www.imuraya.cn/ibf/





IMURAYA USA, INC.

所在地: 2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA

事業内容:冷菓の製造販売

代表者:浅田 剛夫・川田 薫

http://imuraya-usa.com/





井村屋(大連)食品有限公司

所 在 地:中国遼寧省大連市旅順□区長城鎮大房身村

事業内容:調味料の製造販売

代表者:杉浦 正久

http://www.imuraya-group.com/outline/group/





持株会社 概要(平成27年6月19日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号

創 明治29年(1896年)

設 立 昭和22年(1947年)4月

金 2,253百万円

業 員 数 48名 ※グループ全体では854名

業内容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、

不動産の賃貸・管理

代表取締役会長(CEO) ······ 浅田 剛夫 役員·執行役員

> 代表取締役社長(COO) ······ 寺家 正昭 専務取締役兼上席執行役員 ………… 前山

> 専務取締役兼上席執行役員 …… 中島 伸子

常務取締役兼上席執行役員 …… 大西 安樹 常務取締役兼上席執行役員 …… 菅沼 重元

取締役兼上席執行役員(CTO) ······· 伊藤 宏規

計外取締役 …… 名倉眞知子

社外取締役 …… 西岡 慶子

上席執行役員……………… 鼎 正教 常仟·常勤監查役 ······ 村田 清

社外監査役 …… 土川 禮子

社外監査役 ………… 戸川 順治

井村屋グループ株式会社ウェブサイト

http://www.imuraya-group.com/

井村屋グループ株式会社のウェブサイトでは、企業情報をはじめ、CSRの取り 組みや環境対策、グループ各社の商品情報など、さまざまな情報を掲載して おります。

井村屋ウェブショップ ------

http://www.imuraya-webshop.jp/shop/

井村屋株式会社 公式Twitter ------

https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook -----

https://www.facebook.com/azukinoimuraya









株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、 ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様の ご優待品は6月中旬頃にお送りいたしております。以下は、 2015年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でござ います。

1.000株以上の株主様



井村屋商品オリジナル詰め合わせ

3,000株以上の株主様

セレクト商品 次の2種類からお一つお選びいただけます。







①アイスクリーム詰め合わせ

(ゴールドあずきバー・ミルク金時バー・宇治金時バー×各2、 蜂蜜かりんとうアイス×2、やわもちアイス(ミルク・抹茶)×各2)



②マイギフト

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。 ※①は冷凍商品のため、オリジナル詰め合わせとは別便にてお届けいたします。